

安芸市夏季大学講座で講演しました(2018/07/31)

テーマ：防災教育、防災訓練
場所：安芸市市民会館（高知県安芸市）

7月31日（火）、「第64回安芸市夏季大学講座」が安芸市・市民会館（高知県安芸市）を会場にして開催されました（主催：安芸市、安芸市教育委員会）。この大学講座は、生涯学習の一環として、安芸市民の知識や教養の向上を図り、心身ともに豊かな人づくりを目指すことを目的にして毎年開催されています。7月21日～8月15日の間に、健康講座、人権講座、防災講座、生涯学習講座の計4回が開催され、当研究所の佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）は7月31日の防災講座を担当しました。

佐藤翔輔准教授は、「3.11から見てきた災害から生き抜く知恵」というタイトルで、東日本大震災における被災地の対応過程の分析を踏まえて、津波による犠牲者ゼロの地域づくり、災害時に必要な「生きる力」、訓練のコツや実例について講演しました。安芸市は、南海トラフ地震の津波被災想定地域であるとともに、先般の平成30年7月豪雨（西日本豪雨）で大規模な河川氾濫や家屋浸水が発生しており、テーマとしても関心の高いものだったようです。平日夜の開催にもかかわらず約100名もの皆様に参加いただけただけでなく、活発な質問をいただき、盛会となりました。



会場の様子



講演の様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）

写真提供：安芸市川向地区自主防災組織・仙頭ゆかり様